進路だより

第9号
令和５年12月22日発行
宮城県東松島高等学校 進路指導部

「好きな仕事だけに就くことは本当にハッピーなのだろうか?」

Ⅲ部主任

あなたは、将来就きたい仕事を、どんな基準で選びますか？ 好きだからですか？ それとも憧れだからですか？ 大抵の人はそれが好きだから、その仕事に就いたらどんなにか楽しいだろうと思うのが普通ではないでしょうか。「だって嫌いな分野の仕事を選ぶと、すぐに嫌いになり、長続きもしないだろうし…。」実際知人の Ａ 君もそうでした。Ａ 君は第一志望の博物館の最終採用面接で落ちた時行き所がなくなり、すすめられるまま試験を受けて教員になったそうです。そのため最初は気持ちが入らない毎日だったようです。

それから７年経つうちに、職場異動でその県の博物館建設準備業務担当となり、その後博物館学芸員として偶然、若い頃に切望していた仕事を担当することとなりました。好きな仕事だからどんなことも出来ると思い、ひたすら仕事をし続けたそうです。

ただ数年後次第にどうしてもある特定部分の業務が出来ず、壁を感じるようになったそうです。

人間には得意と不得意があります。不得意部分は年をとってもなかなか改善されず、次第にその人を苦しめていくことになります。

皆さんは、自分が本当にやりたいと思った仕事に就いた後、仕事に満足出来ない現実に直面したらどうしますか？ 実際のところ、今後どんな仕事に就いてもダメだろうと自信を無くしませんか？ Ａ君はその後学校教員に戻ったそうです。しかし博物館時代に人々の話を聞いて文字化する業務で培った、人の話を深く聞き記録する力や観察力が想像以上に今の仕事で役立ち、さらに子育てで得られた知見も生かせ、人生最高に充実した日々であるとのことです。

Ａ君の話を聞き感じたことは、

① 好きな仕事に就いても、自分の苦手部分で苦しむ場面が（必ず）あること。
② 前の仕事で身につけた能力は、視点を変えると新しい職場の武器になりうること。
③ 好きでもない仕事が、実際は自分に合う仕事だったりすることがあるということ。です。

好きな仕事だけでなく、今自分の置かれた場所と能力で何が真に出来うるのかという視点から、常に仕事や日常を見つめ直すことも、意外に大事なことかなと思う今日この頃なのでした。

「私の進路体験記」

英語担当

高校生の頃の私は、初めて見る予備校の模擬試験や大学入試の問題が全く解けませんでした。当然入試は失敗、予備校に通う金もなく、新聞配達のアルバイトをしながら自宅や図書館で勉強していました。今度失敗したら働いてもらうという母親の言葉もあり、後がない思いでした。最低でも1日10時間、多い日で15時間勉強していました。その結果、センター試験では落ち着いて受験でき、問題を解くことができました。今でも覚えています。とにかく、自分自身成長したいと思ったら、何事にもすぐに諦めずに挑戦してみましょう。苦しかった分だけ得られるものが大きく感じられるはずです。Do Your Best!

音楽担当

高校生の頃、電車と自転車で1時間半かけて通学していました。電車の待ち時間や電車内での時間は、勉強をして過ごしていました。電車の音や人混みの騒音がうるさい中でしたが、勉強に集中するとその騒音が全く聞こえなくなりました。集中することで騒音が聞こえなくなる現象が面白くて、毎日そんな環境の中で勉強をすることができました。大人になった今でも、「集中!」と気合いを入れると周りの音が遮断され集中することができます。勉強や読書の際、周りの騒音や雑音が気になって集中出来ない方は「集中!」と意気込んでみてください。もしかしたらいつも以上に集中できるかも。

国語担当

高校1年生で自分の行きたい大学を探しているときに「これだ!」とピンときた学科がありました。絶対にここに進学するぞ、と強く心に決めました。高校2年生の時に、学びたい学科の中で国語の教員免許が取れることを知り、高校の先生という将来を決めました。皆さんは、今どんなことが好きですか？ 私は、ひたすらに小説と国語が好きな高校生でした。「好きなこと」を仕事に出来る人は少ないかしれません。でも「好きなこと」を趣味でも継続することはきっとできるはず。たくさん「好きなこと」を増やしてください。その「好きなこと」を続けるための進路を選んでほしいなぁと思います。

《12月、1月の進路関係行事》

12月23日（土）～1月8日（月）冬季休業

1月9日（火）生徒集会

1月13日（土）～1月14日（日）

大学入学共通テスト

1月26日（金）

金銭教育プログラム（23年次Ⅰ・Ⅱ部、全年次Ⅲ部）

金融経済教育（22年次Ⅰ・Ⅱ部）

租税教室（21年次、20年次Ⅰ・Ⅱ部）

《進路実現に向けて、お勧めの学習法》

① 将来の目標をノートに書き溜めていく。
② 学習中、スマホは電源を切る。
③ 解らないことは周りの人に聞く。
④ 睡眠をしっかり取り、疲れを貯めない。
⑤ 進路室を活用して、情報を収集する。

進路室には企業のパンフレットや大学の赤本など、たくさんの分野の資料があるよ。

進路室写真